

日本共産党のえんど久子県議ら上京し国に要望 防衛省に共同訓練やめよと求める



防衛省に訴えるえんど久子県議（右）
堤栄三県議（左）ら。
東京（国会内）にて 2024. 7. 18.

猿渡（えんど）久子・堤栄三両県議や美馬恭子別府市議など県下の市議ら8人は、7月17日に上京し、18日まで国会内で厚労省や文科省など各省庁に要望したり、制度の説明を受けたり、実態を訴え意見交換したりしました。

攻撃的になりリスク増す

防衛省には、日出生台などでの日米共同訓練レゾリュートドラゴンの中止や敷戸弾薬庫の拡張や第2特科団の創設など戦争準備をやめると求めました。しかし、防衛省は「抑止力の向上につながり必要だ」という態度です。

堤県議らは「攻撃的になり戦争のリスクが増す」と反論。街への外出中止も求めました。



防衛省に要望書を手渡す堤栄三・えんど久子両県議。
国会内 2024. 7. 18.

沖縄での性暴力は他人事でない

えんど久子県議は「訓練も米兵の街なかへの外出も中止すべきだが、中止しないというなら、せめて防衛省が外出を監視すべきだ。百歩譲って言っている。沖縄の事件は他人事ではない」と強く求めました。

防衛省は、「沖縄の事件は沖縄だけの問題ではなく全国的な問題であり、安心安全を守ることは重要で」と言うものの監視活動をするとは言いません。えんど久子県議は「20数年前は九州防衛局や大分県が監視活動をしていた。復活すべきだ」と重ねて強く求めました。

7月11日には各界連絡会の一員として大分県にも同様に強く求めました。

えんど久子県議ら広報員として活動

県議会をもっと知ってもらうために

県議会を身近に

大分県議会では、県議会のことをもっと知っていただき身近に感じてもらいたいと、学校に出かけていく議員出前講座など、様々な活動に取り組んでいます。

夏休み子ども議会見学

8月1日は、大分県議会にて夏休み子ども議会見学があり、小学5～6年生17組の親子が参加しました。

本会議場で県議会の役割などを副議長が話したあと、議会棟を見学。委員会室では議員と意見交換。班ごとの意見交換の内容を一人が記録し一人が本会議で発表。

異常気象についての意見交換では「エアコンの設定温度を見直す」「車での移動を減らす」「電気自動車を増やす」などの意見が出されました。



えんど久子母校に議員出前講座

母校の明星小学校の議員出前講座で、小学校6年生に広報委員として県議会の事を説明するえんど久子県議。小学生から「議員になるための学校はあるんですか？」との質問も出ました。

明星小学校にて 2024. 7. 1.



夏休み子ども議会見学

本会議場の議員席に座る小学生と保護者。画面奥の執行部に議員が座り、小学生の質問に答えた。

大分県議会本会議場にて 2024. 8. 1.